

# 令和6年度事業報告

社会福祉法人 信楽福祉会

## 社会福祉事業

### (1) 第1種社会福祉事業

特別養護老人ホーム「信楽荘」

従来型特養	定員40名
ユニット型特養	定員60名

### (2) 第2種社会福祉事業

(イ) 老人デイサービス事業「信楽荘デイサービスセンター」

通所型サービス (月～金曜日)	定員30名
--------------------	-------

(ロ) 老人短期入所事業「信楽荘ショートステイサービス」

定員10名

(ハ) 認知症対応型共同生活介護「グループホーム笑楽」

定員2ユニット18名

## 公益事業

(1) 信楽荘居宅介護センター

## 令和6年度 社会福祉法人 信楽福社会 事業報告

### 基本理念

1. 誰もが住み慣れた地域の中で、安全かつ安心して普段と変わらない、その人らしい生活が続けられるような憩いの場を提供します。
2. 家族や地域の方々にサポートしていただきながら、ご利用者の立場にたち、プライバシーや基本的人権を配慮しながら、その人らしい自律した社会生活が送れるよう温かいサービスの提供を目指します。

### 信楽荘

#### 「信楽荘 理念」

#### **Welfare しがらき 共に笑い 共に生きる**

信楽荘に関わる全ての「人」にとっての幸福・繁栄・快適な生活の実現をめざし、その理念に沿った事業活動を信楽発で行います。

#### 「信楽荘 職員の心構え」

1. 私たちは、「思いやり」のある「温かい心」で介護に努めます。
1. 私たちは、「謙虚な姿勢」で「誠意ある質の高いサービス」に努めます。
1. 私たちは、「専門職」として「技術の向上」をめざし最善を尽くします。
1. 私たちは、「愛され」「親しまれ」「信頼される」施設をめざします。

基本的理念を達成するため「職員の心構え」を全員が周知徹底し、職員のモラルの向上を図り利用者へのサービス向上に努めます。

# 令和6年度 事業別実績報告

特別養護老人ホーム 信楽荘

令和7年6月9日

## 1、総括

### 2、年間入所(利用者)者数 (R6.4.1~R7.3.31)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
種別													
延人数	3,050	3,232	3,083	3,256	3,176	3,156	3,487	3,381	3,539	3,427	3,170	3,515	39,472
定員数	108	108	108	108	108	108	118	118	118	118	118	118	1,356
当月日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
1日当り平均人員	101.7	104.3	102.8	105.0	102.5	105.2	112.5	112.7	114.2	110.5	113.2	113.4	108.1
入所者数	2	4	0	1	3	2	3	5	2	2	5	3	32
退所者数	4	2	2	3	3	2	4	1	3	3	5	2	34
入院者数	37	94	83	54	30	48	29	188	55	107	49	51	825
1日当り平均人員	1.2	3.0	2.8	1.7	1.0	1.6	0.9	6.3	1.8	3.5	1.8	1.6	2.3
空床数	156	24	19	37	69	55	141	74	34	111	86	91	897
1日当り平均空床	5.2	0.8	0.6	1.2	2.2	1.8	4.5	2.5	1.1	3.6	3.1	2.9	2.5

### 3、信楽荘施設全体職種別職員数 (R6年3月31日現在)

職種 形態	施設長 管理者	副施設長	課長	管理職 合計	総務 事務	介護支援 専門員	生活 相談員	看護師 機能訓練指 導員	介護員	管理 栄養士	調理員	業務員	職員 合計	
													合計	
施設全体(SS含)	正職	1	1	2 (兼務)	4	3	2 (2人兼務)	2	5 (1人兼務)	40	1	5	57	
	パート					1		5 (1人兼務)	21		2	0	24	
デイサービス	正職	1 (兼務)			1		1 (1人兼務)	2 (1人兼務)	4				5	
	パート								2			4	6	
グループホーム	正職	1 (兼務)			1				7				7	
	パート						1	1 (1人兼務)	10				11	
居宅支援	正職	1 (兼務)		1 (兼務)	1		4 (1人兼務)						4	
	パート						1						1	
合計		4	1	3	7	4	8	2	12	84	1	7	4	137

## 4、年間行事実施内容

別紙の通り

## 5、各種職員研修および会議、介護体験・ヘルパー・介護福祉士養成学校実習受入、

施設交流訪問、各種慰問等ボランティア、各種奉仕、荘内会議・委員会、

別紙の通り

## 6、その他

# 令和6年度 事業別実績報告

## 1、小規模特養(従来型多床室) [定員:40名]

令和7年6月9日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
定員数	30	30	30	30	30	30	40	40	40	40	40	40	420
延べ人員	795	899	853	866	811	884	1,131	1,125	1,203	1,136	1,106	1,188	11,997
当月日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
1日当り平均人員	26.5	29.0	28.4	27.9	26.2	29.5	36.5	37.5	38.8	36.6	38.1	38.3	32.8
稼働率(%)	88.3	96.7	94.8	93.1	87.2	98.2	91.2	93.8	97.0	91.6	95.3	95.8	93.6
利用金額(万円)	259	2,058	1,218	1,224	1,283	1,243	1,481	1,460	1,564	1,473	1,545	1,529	16,337

## 2、ユニット型特養 [定員:60名]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
定員数	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	720
延べ人員	1,715	1,775	1,690	1,832	1,825	1,714	1,798	1,716	1,778	1,733	1,560	1,769	20,905
当月日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
1日当り平均人員	57.2	57.3	56.3	59.1	58.9	57.1	58.0	57.2	57.4	55.9	53.8	57.1	57.1
稼働率(%)	95.3	95.4	93.9	98.5	98.1	95.2	96.7	95.3	95.6	93.2	89.7	95.1	95.2
利用金額(万円)	2,578	2,837	2,580	2,793	2,803	2,630	2,730	2,628	2,731	2,666	2,405	2,692	32,073

## 3、ショートステイ [定員:10名]

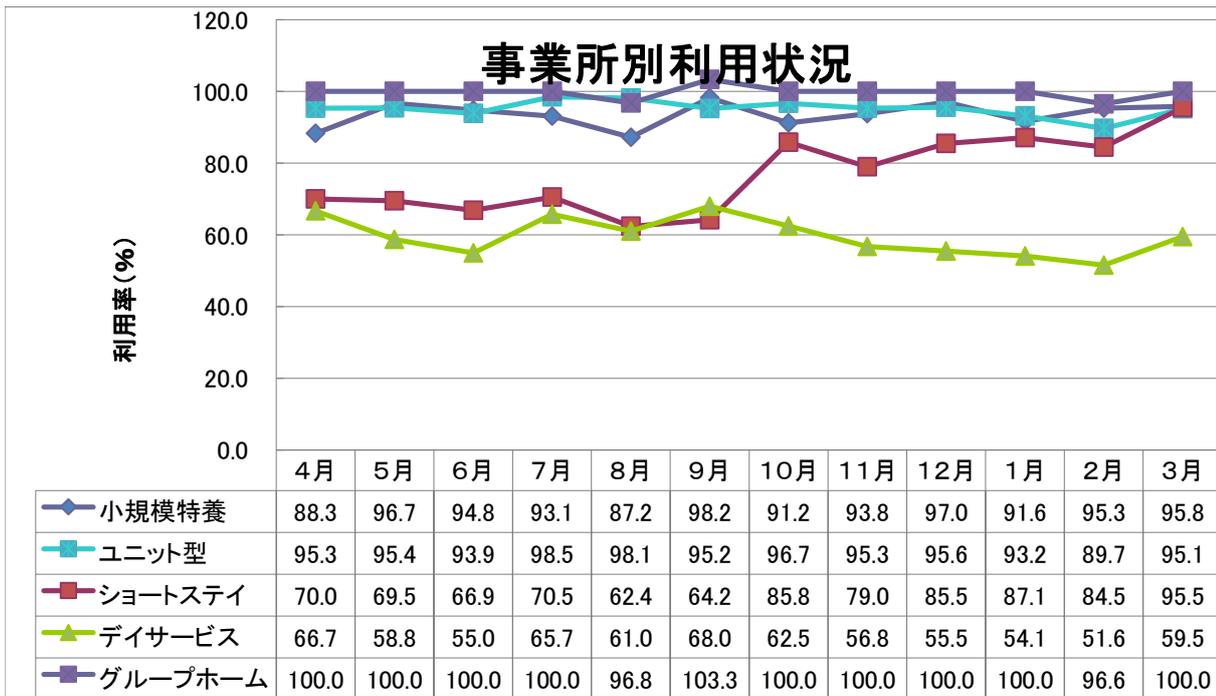
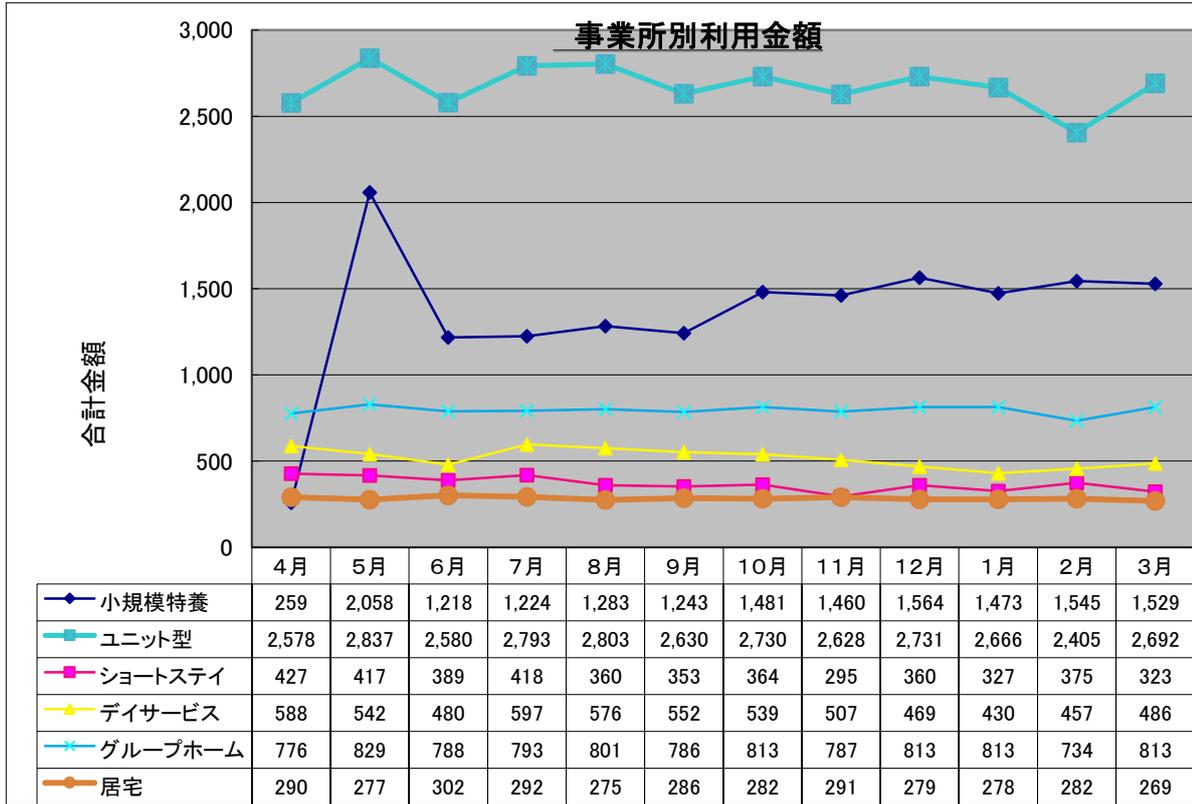
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人員	315	323	301	328	290	289	266	237	265	270	245	296	3,425
当月日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
1日当り平均人員	10.5	10.4	10.0	10.6	9.4	9.6	8.6	7.9	8.5	8.7	8.4	9.5	9.4
稼働率(%)	70.0	69.5	66.9	70.5	62.4	64.2	85.8	79.0	85.5	87.1	84.5	95.5	76.7
利用金額(万円)	427	417	389	418	360	353	364	295	360	327	375	323	4,408

## 4、デイサービス(通常型) [定員:30名]

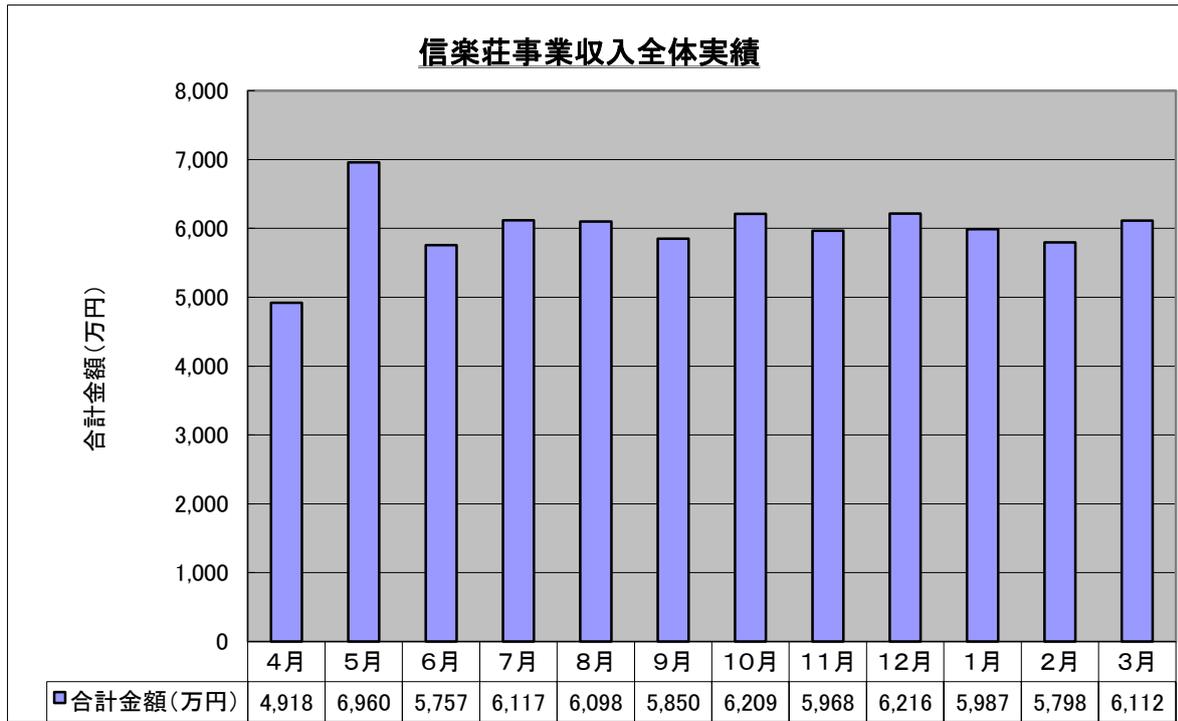
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人員	467	473	404	506	491	476	481	437	408	379	379	437	5,338
当月日数	20	23	21	22	23	20	22	22	21	20	21	21	256
1日当り平均人員	23.4	20.6	19.2	23.0	21.3	23.8	21.9	19.9	19.4	19.0	18.0	20.8	20.9
稼働率(%)	66.7	58.8	55.0	65.7	61.0	68.0	62.5	56.8	55.5	54.1	51.6	59.5	59.6
利用金額(万円)	588	542	480	597	576	552	539	507	469	430	457	486	6,223

## 5、グループホーム [定員:18名]

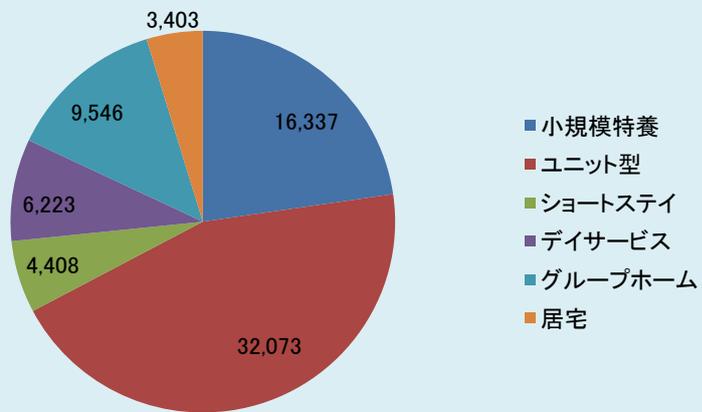
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
定員数	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
延べ人員	540	558	540	558	540	558	558	540	558	558	504	558	6,570
当月日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
1日当り平均人員	18.0	18.0	18.0	18.0	17.4	18.6	18.0	18.0	18.0	18.0	17.4	18.0	18.0
稼働率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	96.8	103.3	100.0	100.0	100.0	100.0	96.6	100.0	9124
利用金額(万円)	776	829	788	793	801	786	813	787	813	813	734	813	9,546



### 信楽荘事業収入全体実績



### 事業所別収入実績



令和 6年 3月 13日作成

令和 7年 4月 20日作成

今年度目標	今年度目標
”その人らしさ”を大切に入居者・職員ともに笑顔で1日1日を過ごせるように	”その人らしさ”を大切に入居者・職員ともに笑顔で1日1日を過ごせるように

<p><b>基本方針</b></p> <p>信楽荘理念・信楽荘職員の心構えを念頭に置き、「入居者・職員ともに笑顔で1日1日を過ごせるように」をユニット内の年間目標とし、1日3回のミーティングにおいて、信楽荘理念・職員の心構え、ふらわあ年間目標の唱和と入居者の様子の情報共有を行い、入居者・職員が笑顔で過ごせる時間が少しでも長くなるよう、支援・計画を行っていきます。入居者お一人お一人が、“その人らしく”生活出来るよう、支援していきます。また、職員においては、働きやすい環境を作るため、適宜、業務の見直しを行い、月に1回の定例会議で意見の交換・情報の共有を行います。</p> <p>新年度の新たな計画として、経営の安定化を図るために空床を有効活用する計画を考案しています。抜本的な策としては、ショートステイの床数を減らし、特養の増床を行います。これにより、大きな転換期を迎えることとなります。新体制への移行を滞りなく進めるために、物心両面での準備を進めています。</p>	<p><b>報告</b></p> <p>10月より増床を行い、新体制へ移行した。ショートステイと合同になったこともあり、食事の提供方法や配膳の方法など、新しい方法を検討・実施を繰り返しながらサービスの提供を行ってまいりました。職員人数・利用者人数が増え、変わらずお一人お一人の”その人らしい生活”を送れるよう情報の共有を行ってまいりました。</p> <p>徐々に新体制に慣れてきたため、今後さらに利用者・職員の笑顔が増えるよう、サービスの計画を行っていきたくと考えています。</p>
--	---

<b>項目1 生活の質の向上</b>					<b>項目1</b>				
<b>計画内容</b>	利用者	家族	職員	地域	<b>評価</b>	利用者	家族	職員	地域
入居者の出来ること・やりがいを考える	○		○		家事や作品づくりなど実施した。	○		○	
季節を感じられる環境(人的・物的)作り	○		○		四季に合わせた行事の計画、設えを行った	○		○	
役割を持った生活	○		○		個々に合わせて役割を持っていた	○		○	

<b>項目2 情報・課題の共有・改善</b>					<b>項目2</b>				
<b>計画内容</b>	利用者	家族	職員	地域	<b>評価</b>	利用者	家族	職員	地域
月に一回の定例会議を行う	○		○		新体制に移行後も継続して開催した	○		○	
一日3回のミーティングを行う	○		○		新体制に移行後、メルタスでの情報共有に切り替えた	○		○	
必要に応じての職員面談を行う			○		随時、面談を行った			○	

<b>項目3 ケアの統一、知識・技術の向上</b>					<b>項目3</b>				
<b>計画内容</b>	利用者	家族	職員	地域	<b>評価</b>	利用者	家族	職員	地域
定期的な勉強会の開催			○		パットの当て方など開催した			○	
メルタスでの情報の発信・共有	○		○		会議室を作成し、一日一日の申し送りを行っている	○		○	
新人職員の指導・育成	○		○		指導担当を決め、指導・育成を行った	○		○	
外部研修への参加			○	○				○	○

<b>項目4 看取りケアの充実</b>					<b>項目4</b>				
<b>計画内容</b>	利用者	家族	職員	地域	<b>評価</b>	利用者	家族	職員	地域
ご本人・家族の意向に沿った計画	○	○	○	○	ご本人の意向の確認がなかなか出来ていない	○	○	○	○
”その人らしさ”を感じられる設え作り	○	○	○	○	担当職員を中心に写真の掲示など行った	○	○	○	○
こまめな家族連絡の実施	○	○	○		状態の変化などの連絡を行った	○	○	○	
最期の一瞬まで寄り添うケアの実施	○	○	○		職員・家族と連携をとり、寄り添うよう心がけた	○	○	○	
勉強会の開催			○		デスカンファレンスを通じて、話し合いを行った			○	
振り返りのカンファレンスの開催	○	○	○		定例会議において、振り返りを行った	○	○	○	

項目5					項目5				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評価	利用者	家族	職員	地域
新体制に向けた理解	○	○	○	○	個人との面談や会議などで新体制への理解を進めた			○	
新体制に向けた検討会議	○	○	○	○	新体制に向けて、随時会議を開催した			○	
計画段階であるが物心両面の準備	○	○	○	○	新体制がスタートできるよう、準備を進めた	○		○	

年間行事計画	利用者	家族	職員	地域	年間行事計画 評価
4月・・・花見ドライブ	○		○	○	<p>新体制へ移行後、運動会やカラオケ大会など、これまでになかった行事を計画・実施し、利用者の新しい一面を見ることもできた。</p> <p>ホットプレートを使用した食事は非常に好評であるため、今後も継続して定期的で開催していきたいと思う。</p> <p>全体での行事・レクは実施できているが、個別での計画がなかなかできていないため、次年度は個別での外出などが実施できるようにしていきたい。</p>
5月・・・食事作り	○		○		
6月・・・七夕準備・おやつ作り	○		○		
7月・・・ユニット内バーベキュー	○		○		
8月・・・花火・スイカ割り	○		○		
9月・・・ユニット内夏祭り	○		○		
10月・・・焼き芋・文化祭作品作り	○		○	○	
11月・・・文化祭・紅葉ドライブ	○		○	○	
12月・・・クリスマス忘年会(鍋会)	○		○		
1月・・・新年会・正月遊び	○		○		
2月・・・豆まき・恵方巻作り	○		○		
3月・・・ひな祭り	○		○		

令和6年3月13日作成

令和 7年3月10日作成

今年度目標	今年度目標
利用者、家族、関係事業所に安心・信頼されるショートを目指す	利用者、家族、関係事業所に安心・信頼されるショートを目指す

<p><b>基本方針</b></p> <p>「信楽町内でショートはこしかないから嫌々利用する」ではなく、「信楽荘のショートを利用して良かった」と思っていたできるように努力する。利用者、家族が在宅生活を望まれる状況において、ショートとしてできる限りの支援を行う。</p> <p>新年度の計画として、ショートステイの床数を減らし、特養の床数を増やす計画を進めている。これに伴い、ショートステイのサービス提供を円滑に移行するための準備を進めている。具体的には、利用者とそのご家族への丁寧な説明や、スタッフの再配置、新たなサービスの提案などを行う。これにより、利用者の皆様が安心してサービスを継続できるよう努めていく。</p>	<p>今年度は定員の変更、体制の変更、環境の変更があり、かなり影響が大きかった。今までより職員が薄く広く関わることになり、抜けやもれなども多々あった。改善に向けて、できることに取り組んでいる途中である。利用者や家族が望まれることを把握し、それに対して応える姿勢が必要であると考え、ショートステイ通信をほぼ毎月発行しており、家族への開かれた情報発信に努めている。</p>
---	--

項目1 生活の質の向上	生活の質の向上			
計画内容	利用者	家族	職員	地域
塗り絵、脳トレ、動画体操等、利用者が選択するものの提供	○		○	
希望される方への面会機会の提供	○		○	

項目2 情報共有と課題検討	情報共有と課題検討			
計画内容	利用者	家族	職員	地域
定例会議の実施	○		○	
出勤時・業務間の申し送りと共有	○		○	
家族、関係事業所への情報提供 (ショートだから見える部分や連携が必要な内容)		○		○

項目3 ニーズ把握とサービスの質の向上	ニーズ把握とサービスの質の向上			
計画内容	利用者	家族	職員	地域
アンケート結果に対するの検討	○	○	○	○

項目4 新体制に向けての取り組み					新体制に向けての取り組み				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評価	利用者	家族	職員	地域
新体制に向けた理解	○	○	○	○	事業所への報告はもちろん、利用者・家族へショートステイ通信にて理解を求めた。ショート予約を2ヶ月前に変更した。	○	○	○	○
新体制に向けた検討会議	○	○	○	○	主にリーダー会議にて形をつくっていき、新体制確立に努めた。	○	○	○	○
計画段階であるが物心両面の準備	○	○	○	○	主にリーダー会議にて形をつくっていき、新体制確立に努めた。職員にも必要情報を発信し、関係準備に努めた。	○	○	○	○

年間行事計画	利用者	家族	職員	地域	評価
4月：花見ドライブ	○		○	○	食事会などの行事(外出を除く)については、ふらわあと合同で実施できている。ショートステイ単独で計画・実施しなくてよくなった。今まで以上にショートステイ利用者が、行事に参加できる機会をつくれていることは、良いことであると考え
10月：紅葉ドライブ	○		○	○	
12月：クリスマス会	○		○		
2月：節分・豆まき	○		○		
食事会（不定期）	○		○		
おやつ作り（不定期）	○		○		

令和 6年 3月 9日作成

令和 7年 4月 6日作成

今年度目標	今年度目標
「やさしい介護・頼られる介護・ご希望を引き出せる介護」を行います	「やさしい介護・頼られる介護・ご希望を引き出せる介護」を行います

基本方針	報告
ご利用者さまは身の回りのことをわたしたち職員にゆだねて暮らして下さっています。「暑い・寒い・辛い・痛い・お腹が減った・ご家族に会いたい」のようなご希望でも、いつでも何度でも、安心して訴えていただくことができる「やさしい介護・頼られる介護・ご希望を引き出せる介護」を行います。	可能な限りにおいて基本方針に照らした介護を行ってまいりました。至らないこともありますが、大きな改善は要しないものと考えています。他方、清掃・整理整頓に課題が残りました。来季は仕組み化して取り組んでまいります。
項目1 生活の質の向上	項目1 生活の質の向上
計画内容	利用者 家族 職員 地域
お一人おひとりの“今”に合わせた最適な暮らしが整うよう、衣・食・住を何度でも見直し、調整します	食については頻繁に見直しを行い、個人の嗜好品も代理購入を基本にするなど、かなり充実して提供できていたものと考えます。衣はやや管理が難しくなっていた面があったものと認識しています。住については清掃、整頓に課題が残りました。来季の改善点といたします。
ご利用者さまの「できること・できたこと」に注目し、共に喜び感謝をあらわします。	特別なことだけでなく、日常のなかの些細なできたことなども職員間でシェアし、ご本人に伝えるなど、概ねできていたと言えそうです。
お部屋で休まれている方も、リビングで過ごされている方も同じようにコミュニケーションを図ります。	お部屋で休まれている方にはベッドごとリビングに出ていただくという対応がスタンダードになりました。それをもってできていたと考えます。

項目2 環境作り	項目2 環境作り
計画内容	利用者 家族 職員 地域
季節を感じていただけるようリビングのレイアウトを整えます。	一部の職員が中心となり、かなり充実したレイアウトが行っていたものと考えます。
個人の個性を感じていただけるお部屋作りを行います。テレビ、音楽、写真、絵、ご家族の手紙などをお好みに合わせてレイアウトします。	できていた面もあると考えますが、担当職員が利用者さんの居室に、自発的に注意を払うという認識は低かったと考えます。来期の課題とします。
ご家族やご友人と「共に暮らしている」と感じられるよう面会や、テレビ電話、外出の機会を作る働きかけを行います。	求める利用者さんには、ご家族へ電話をしたりご自宅へ送迎、ご家族へ面会の要請をするなど積極的に実施してきたと考えます。

項目3 虐待防止計画と職員の在り方	項目3 虐待防止計画と職員の在り方
計画内容	利用者 家族 職員 地域
不適切なケアを見つけたら、複数の職員で共有し必ず本人に指摘します。本人と一緒に再発防止策を作成し共有します。	不適切と考えられるケアについては、リーダーへ報告、リーダーから本人に指摘、再発防止について検討するという流れで取り組んでまいりました。
原因不明のトラブルは必ず全員で共有し、再発がないかモニタリングを行い開示します。解決しなければ上司へ報告します。	事象の緊急性・重大性により様々ですが、全員での共有についてはやや課題が残る結果(習慣化には至らず)となりました。来期の課題とします。
職員個人の弱みや失敗の開示を賞賛します。一人で抱えこまないよう、補えあえる関係性をつくります。	比較できていたのではないかと考えます。苦手な利用者対応を、相性の良い職員に交代するなどを行ってきました。アサーティブなコミュニケーション、心理的安全性の担保にはまだ課題があると感じています。
担当職員はご利用者さまの「項目1・2」の実行役を責任を持って行います。	担当職員がその利用者さまへの責任を担うという意識は低く、課題が残ったと考えます。
ご家族さまには、お手紙に加えて電話や面会時などにも近況をお伝えし、開かれた施設を作ります。	概ねできていたものと考えます。

年間行事計画	利用者 家族 職員 地域	年間行事計画	利用者 家族 職員 地域
4月…花見、ドライブ、衣替え	○ ○ ○	4月…桜の会(ご家族を招待しての野点お茶席)	○ ○ ○
5月…おやつ作り	○ ○ ○	5月…お出掛け(牧場BBQ)	○ ○ ○
6月…あじさいドライブ	○ ○ ○	6月…創立記念のお食事	○ ○ ○
7月…七夕祭り、居酒屋	○ ○ ○	7月…夏祭り	○ ○ ○
8月…夏祭り、花火、衣替え	○ ○ ○	8月…コロナ感染により実施できず	○ ○ ○
9月…敬老祝賀会、衣替え	○ ○ ○	9月…秋空喫茶・敬老のお祝い・お月見	○ ○ ○
10月…運動会	○ ○ ○	10月…ハロウィンパーティー(チョコフォンデュ)	○ ○ ○
11月…紅葉狩り	○ ○ ○	11月…さつまいもパーティー	○ ○ ○
12月…クリスマス忘年会(鍋パ・すき焼きなど)	○ ○ ○	12月…クリスマス忘年会(ピュッフェパーティー)	○ ○ ○
1月…書き初め、餅会	○ ○ ○	1月…インフル蔓延により実施できず	○ ○ ○
2月…節分、バレンタイン	○ ○ ○	2月…バレンタイン	○ ○ ○
3月…ひなまつり、ホワイトデー	○ ○ ○	3月…ひなまつり、お団子の会	○ ○ ○



年間行事計画	利用者	家族	職員	地域	年間行事計画 評価
花見、誕生会	○		○		誕生月に他の入居者と職員でお祝いしプレゼントを渡しお祝いすることができた。 季節に応じて外出や季節の行事を実施し季節の移り変わりを感じてもらった。 イベント、行事の実施後には家族に報告した。
森林浴、誕生会	○		○		
外食ドライブ、誕生会	○		○		
七夕、流しソーメン、誕生会	○		○		
夏祭り、誕生会	○		○		
居酒屋、誕生会	○		○		
外食ドライブ、誕生会	○		○		
紅葉ドライブ、焼き芋、誕生会	○		○		
クリスマス忘年会、誕生会	○		○		
初詣、お茶会、誕生会	○		○		
節分、居酒屋、誕生会	○		○		
ひな祭り、梅林散策、誕生会	○		○		

令和 6年 3月13日作成

令和 7年4月20日作成

今年度目標	今年度目標
施設内で一番明るく、楽しそうなユニットに	施設内で一番明るく、楽しそうなユニットに

<p><b>基本方針</b></p> <p>昨年度はユニット内の業務に追われてしまい、行事があまり出来なかった中で、今年度は職員、入居者ともに楽しめるような行事を積極的に行う。各月に担当の職員を配置し、毎月全員に楽しんでもらえるように努めていく。また昨年度と同様に誕生日プレゼントの予算を例年より上げ、質を向上する。また基本的な声掛けを継続的に実施できるよう、介護技術の向上を目指すように、内部研修に積極的に参加してもらう。</p>	<p><b>報告</b></p> <p>年度初めは外出行事等は行えたが、後半は感染症の対応や、職員の体調に考慮できないことが多かった。誕生日プレゼントは引き続き質を向上し贈る事ができ、入居者の方々に喜んでもらったと思う。内部研修は全職員に参加してもらうことが出来た。</p>
--	---

<b>項目1 明るいユニットになるように</b>					<b>項目1</b>				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評価	利用者	家族	職員	地域
月に一回以上の室内レクリエーションの実施 昨年度、好評だった誕生日プレゼントの予算を上げ、プレゼントの質を上げるとは継続。	○		○		実施でき、喜んでいただけた。	○		○	
担当を決め、月一回の行事の実施。 3ヶ月に一回(季節ごと)の外出行事	○		○	○	出来た時もあったが、後半は出来なかった。	○		○	○
日常のコミュニケーション(挨拶) 誰にでも自分から、気持ちの良い挨拶 入居者、入居者ご家族、職員、地域の方へ	○	○	○	○	出来ていたと思う。	○	○	○	○

<b>項目2 情報共有・課題の改善</b>					<b>項目2</b>				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評価	利用者	家族	職員	地域
7時、13時半、22時半にミーティングを行う。 ミーティングにはできるだけ多くの職員に参加してもらい、情報を共有できるようにする。	○		○		実施でき、入居者の情報を以前よりもしっかりと共有できた。またミーティングの実施により、職員同士の話す機会も増え、連携が取りやすくなったと思う。	○		○	
マルチスを使用し、ミーティングに参加できなかった職員にも情報、課題を統一できるようにする。	○		○		実施できた。マルチスで確認できていない職員には随時声をかけ、確認してもらえた。	○		○	
研修を実施する。 課題が解決できない時はリーダー会議等で他部署等の意見を聞く。	○		○		実施できた部分もあったが、リーダー会議が実施できないこともあった。	○		○	
年に一度は全員、必要時に個人面談			○		必要時に個人面談は行えた。年に一度の個人面談は勤務の都合上、出来なかった職員もいた。			○	

<b>項目3 最良の最期を迎えてもらうために</b>					<b>項目3</b>				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評価	利用者	家族	職員	地域
積極的な外部・内部研修への参加をし、新しい知識をつけてもらう。			○		外部研修にも参加することが出来た。ただ偏りがあり、全員には参加してもらえなかった。内部研修は全員が実施できた。				
日々の入居者との関わりから、趣味嗜好を探り、よりよい居室、空間を提供できるようにする。	○	○	○		出来た部分もあったと思う。				
日々の体調の変化を家族様に手紙で伝える。 希望があれば、最期を一緒に迎えてもらえるように、環境を整える。	○	○			出来たと思う。ただもう少し電話連絡を増やし、家族様と連絡を密に取ればよかったと思う。				

年間行事計画	利用者	家族	職員	地域	年間行事計画 評価
4月 お花見ドライブ、おやつ作り	○		○	○	前半の部分はできたと思う。外出も全員は出来なかったが、比較的行うことが出来た。青空ユニットの居酒屋レクは好評だったが、レク開催日に人員が不足する勤務しか組めず、実施することが出来なかった。また予定していた花火大会も天候の都合で2日間中止になり、実施できなかった。来年度はできるだけ多く、入居者に喜んでもらえるようなレクリエーションを行ってみたい。
5月 ピクニックランチ	○		○		
6月 紫陽花ドライブ、おやつ作り	○		○	○	
7月 花火大会	○		○		
8月 夏祭り(居酒屋)	○		○		
9月 ピクニックランチ	○		○		
10月 焼き肉会	○		○		
11月 紅葉ドライブ、おやつ作り	○		○	○	
12月 忘年会(居酒屋)	○		○		
1月 おやつ作り	○		○		
2月 豆まき	○		○		
3月 町内ドライブ、おやつ作り	○		○	○	

信楽荘理念 welfare しがらき 共に笑い 伴に生きる

信楽荘理念 welfare しがらき 共に笑い 伴に生きる

令和6年3月5日作成

令和6年4月4日作成

今年度目標	今年度目標
ご利用者様が安心・安全に過ごせるよう支援する。また、身体機能低下予防に向けた取り組みを積極的に取り入れ活気あふれるデイサービスセンターを目指す。	ご利用者様が安心・安全に過ごせるよう支援する。また、身体機能低下予防に向けた取り組みを積極的に取り入れ活気あふれるデイサービスセンターを目指す。

基本方針	報告
信楽荘理念・職員の心構えのもと、ご家族・関係機関との連携を密にし、ご利用者には住み慣れた地域で「安心で・穏やかに・話が弾む場」であるよう努めます。また、デイサービスを利用することで社会的孤立の解消及び心身・機能の維持向上を図るとともに、ご家族の身体的・精神的負担軽減に努めます	個別機能訓練や日常のレクリエーション前に下肢筋力低下予防に向けた体操を実施し、心身ともに健やかに過ごして頂けるような活動ができた。また、体調観察や感染対策を十分に行い感染症の広がりを防ぐ事が出来た。

項目1 生活の質の向上					項目1				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評価	利用者	家族	職員	地域
身体機能低下予防に向けた活動の提供	○		○		積極的に取り組めた。	○		○	
利用者間や職員との交流機会の提供	○		○		お話し之机会を多く持つことが出来た。	○		○	
清潔を保つ(入浴・排泄介助・体調観察)	○		○		利用者個々に合わせた対応が出来た。	○		○	
利用者の生きがいを探す	○	○	○		出来る事。の発見に繋がった。	○	○	○	
信頼関係の構築・目配り・気配り	○	○	○		信頼関係を築く事ができた。	○	○	○	
レクリエーション(脳トレ・体操等)の計画・実施	○		○		活気のあるレクリエーションが出来た。	○		○	

項目2 課題の共有・改善					項目2				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評価	利用者	家族	職員	地域
関係機関との連携・情報共有	○		○	○	連携を取り早急に対応が出来た。	○		○	○
利用者との面談実施	○		○		傾聴する機会を多く持つことが出来た。	○		○	
職員間の連携・情報交換			○		話し合いを多く持つことが出来た。			○	
勉強会の実施			○		課題解決に向けた勉強会が出来た。			○	
ご家族への聞き取り(ご家庭での様子等)	○	○	○		送迎時等に聞き取りが出来た。	○	○	○	

項目3 体調管理					項目3				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評価	利用者	家族	職員	地域
感染症予防対策の実施	○	○	○		感染対策を十分に行えた。	○	○	○	
来荘時のバイタル測定	○		○		特変の早期発見が出来た。	○		○	
体調面の聞き取り	○	○	○		体調面の不安を聞き取る事ができた。	○	○	○	
緊急時の迅速な対応	○	○	○		特変に対して迅速に対応出来た。	○	○	○	
各関係機関との連携			○	○	迅速に対応することが出来た。	○		○	

項目4 環境整備					項目4				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評価	利用者	家族	職員	地域
大掃除の実施			○		7月・12月に実施出来た。			○	
貸し出し用の車イス・老人車の定期的な整備			○		7月の大掃除に併せて実施できた。			○	
危険箇所の点検(フロアー・浴室・トイレ等)			○		日常的に点検・対応が出来た。			○	

年間行事計画	利用者	家族	職員	地域	年間行事計画 評価
レクリエーションの計画・実施(週替り)	○		○		<p>感染症の広がりも落ち着いてきている為、レクリエーションも活気を取り戻し、カラオケやゲーム等のレクリエーションも再開している。年に2回の大掃除も実施でき、気持ち良く過ごして頂けるよう対応出来た。</p> <p>年間行事に合わせた、活動の準備を職員で話し合いながら取り組む事が出来た。</p>
デイサービスだよりの発行(毎月)			○		
カレンダー作成(毎月)	○		○		
季節に応じた写真撮影(桜の時期等)	○		○		
大掃除(7月・12月)			○		
敬老のお祝い会(9月)	○		○		
クリスマス・忘年会(12月)	○		○		
勉強会の実施(虐待防止・事故防止等)			○		

令和 6年 3月 4日作成

令和 7年 4月 20日作成

今年度目標	今年度目標
入居者様の一人ひとりのペースを大切にしてい	入居者様の一人ひとりのペースを大切にしてい

基本方針	報告
信楽荘の理念、グループホームの理念のもと、入居者様一人ひとりのできることを大切に、また行動の背景を理解したケアを実践していく。	行動の背景について、職員一人ひとりが考え、実践できていたと思う。

項目1 入居者様の理解と生活の質の向上					項目1				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評価	利用者	家族	職員	地域
月に1回の定例会議で入居者様の情報交換	○		○		出来ない月もあったが、8割はできていた。	○		○	
入居者様との関わりを増やす	○		○		話し相手になり関わりが増えたと思う。	○		○	
メルタスや連絡ノートでの情報共有	○		○		共有できていた。メルタスの活用を促進した。	○		○	
入居者様の意向に沿った対応をする	○		○		意識していたが、更に個別に意向を聞き取ることが必要。	○		○	
入居者様の行動の背景を考える	○		○		利用者様の背景を意識してきた。	○		○	

項目2 職員の質の向上					項目2				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評価	利用者	家族	職員	地域
定期的な勉強会の実施			○		信楽荘無いで定期的な研修に参加した。			○	
必要時の職員との面談			○		必要時と下半期に個人面談を行った。			○	
利用者さんへの丁寧な言葉遣いの徹底	○		○		まだ課題はあるが、前年度より意識付けできた。	○		○	

項目3 情報の共有					項目3				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評価	利用者	家族	職員	地域
ご家族様に月1回の生活の報告を手紙で送る	○	○	○		出来ていた	○	○	○	
運営推進会議の内容を書面にて送る	○	○	○		送っていた。	○	○	○	

項目4 地域との連携					項目4				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評価	利用者	家族	職員	地域
2ヶ月に1回の運営推進会議にて報告	○	○	○	○	開催できた。感染症流行時は、書面で関係者に報告していた。	○	○	○	○
地域の行事に参加	○		○	○	運動会や文化祭に参加した。	○		○	○
月に1回の小学校への外出・交流	○		○	○	学校の長期休暇の月を除き、概ね行えた。	○		○	○

年間行事計画	利用者	家族	職員	地域	年間行事計画 評価
4月 お花見ドライブ・イベント	○		○	○	感染症の流行で、行事計画通り実施出来ないときもあったが、季節に合わせた行事、利用者さんが希望される行事を企画し、開催した。また、天気の良い日などは、積極的にドライブなどをして、利用者さんに気分転換をしていただけたようにした。行事などは比較的行えているので、より利用者さんのニーズに合わせた行事、また行事をご家族に見に来ていただけるような機会を作っていき、ご家族とともに利用者さんを支えていける環境を整えていきたい。
5月 新緑ドライブ・イベント	○		○	○	
6月 あじさい見学・ドライブ・七夕準備	○		○		
7月 花火	○		○		
8月 GH夏祭り	○		○		
9月 お月見イベント・ドライブ	○		○	○	
10月 コスモス畑ドライブ・GH体力テスト	○		○		
11月 紅葉ドライブ・イベント・クリスマス準備	○		○	○	
12月 クリスマス会	○		○		
1月 初詣・正月イベント	○		○	○	
2月 節分、豆まき、バレンタイン	○		○		
3月 ひな祭り	○		○		

令和6年 3月13日作成

令和7年4月9日作成

今年度目標	今年度目標
利用者様の在宅生活を維持できる様、地域のサービスを広げ交流を図る。	高齢者の生活状況(特に独居や高齢者世帯)によっては、在宅生活を維持できないケースもあった。

基本方針 利用者様の在宅生活を基本とし、利用者及び家族に寄り添い傾聴し、利用者様自身の自律した生活を送れる援助を効率よくしていく。	利用者様に寄り添い、在宅生活を送れる援助はできたと思うが、自律した生活への援助はできたりできなかったりであった。
--	--

項目1 利用者の生活の質の向上と維持									
計画内容	利用者	家族	職員	地域		利用者	家族	職員	地域
サービスを適切に提供できる	○	○	○		サービスを適切に提供できる	○	○	○	
利用者の生活の質を維持している	○	○	○		利用者の生活の質を維持している	○	○	○	
利用者に必要なアセスメントができる	○	○	○		利用者に必要なアセスメントができる	○	○	○	
利用者からの苦情等が無く丁寧に対応する	○	○	○		利用者からの苦情等が無く丁寧に対応する	○	○	○	
不足している在宅サービスを開拓していく	○	○	○	○	不足している在宅サービスを開拓していく	○	○	○	X
介護・医療関係サービス事業所との連携を図る			○	○	介護・医療関係サービス事業所との連携を図る			○	○

項目2 社会福祉法人信楽福祉会職員としての関わり									
計画内容	利用者	家族	職員	地域		利用者	家族	職員	地域
信楽荘内の行事などに協力する			○		信楽荘内の行事などに協力できた			○	
信楽荘職員同士の協力ができる			○		信楽荘職員同士の協力が一部ではできていた。			△	
信楽荘の理念に基づき意識して行動する	○		○		信楽荘の理念に基づき意識して行動する	○		○	

項目3									
計画内容 他事業所とのスムーズな連携を図る。	利用者	家族	職員	他事業所		利用者	家族	職員	地域
同じシステム同士の事業所との連携をする。			○	○	同じシステム同士の事業所との連携を図りきれていない。			○	△
仕事の効率化を実施する。					仕事の効率化は努力している所。			△	

項目4									
計画内容	利用者	家族	職員	地域		利用者	家族	職員	地域

年間行事計画	利用者	家族	職員	地域	年間行事計画(報告)
甲賀市長寿福祉課の年度初めの事業案内			○	○	行事や同町内、他法人との研修や勉強会には積極的に参加できています。ただ、全員が出張や研修に行くのが少ないように思いました。次年度には少しでも多く研修などに参加するようになりたいと思います。
その他介護支援専門員に関する出張、研修			○	○	
信楽地域内での事例検討会及び研修会参加			○	○	
信楽荘での行事に参加、協力	○	○	○	○	
毎月の利用票配布、提供票配布、担当者会議開催	○	○	○	○	

令和6年 3月13日作成

令和7年4月9日作成

今年度目標	今年度目標
利用者様の在宅生活を維持できる様、地域のサービスを広げ交流を図る。	高齢者の生活状況(特に独居や高齢者世帯)によっては、在宅生活を維持できないケースもあった。

基本方針 利用者様の在宅生活を基本とし、利用者及び家族に寄り添い傾聴し、利用者様自身の自律した生活を送れる援助を効率よくしていく。	利用者様に寄り添い、在宅生活を送れる援助はできたと思うが、自律した生活への援助はできたりできなかったりであった。
--	--

項目1 利用者の生活の質の向上と維持									
計画内容	利用者	家族	職員	地域		利用者	家族	職員	地域
サービスを適切に提供できる	○	○	○		サービスを適切に提供できる	○	○	○	
利用者の生活の質を維持している	○	○	○		利用者の生活の質を維持している	○	○	○	
利用者に必要なアセスメントができる	○	○	○		利用者に必要なアセスメントができる	○	○	○	
利用者からの苦情等が無く丁寧に対応する	○	○	○		利用者からの苦情等が無く丁寧に対応する	○	○	○	
不足している在宅サービスを開拓していく	○	○	○	○	不足している在宅サービスを開拓していく	○	○	○	X
介護・医療関係サービス事業所との連携を図る			○	○	介護・医療関係サービス事業所との連携を図る			○	○

項目2 社会福祉法人信楽福祉会職員としての関わり									
計画内容	利用者	家族	職員	地域		利用者	家族	職員	地域
信楽荘内の行事などに協力する			○		信楽荘内の行事などに協力できた			○	
信楽荘職員同士の協力ができる			○		信楽荘職員同士の協力が一部ではできていた。			△	
信楽荘の理念に基づき意識して行動する	○		○		信楽荘の理念に基づき意識して行動する	○		○	

項目3									
計画内容 他事業所とのスムーズな連携を図る。	利用者	家族	職員	他事業所		利用者	家族	職員	地域
同じシステム同士の事業所との連携をする。			○	○	同じシステム同士の事業所との連携を図りきれていない。			○	△
仕事の効率化を実施する。					仕事の効率化は努力している所。			△	

項目4									
計画内容	利用者	家族	職員	地域		利用者	家族	職員	地域

年間行事計画	利用者	家族	職員	地域	年間行事計画(報告)
甲賀市長寿福祉課の年度初めの事業案内			○	○	行事や同町内、他法人との研修や勉強会には積極的に参加できています。ただ、全員が出張や研修に行くのが少ないように思いました。次年度には少しでも多く研修などに参加するようになりたいと思います。
その他介護支援専門員に関する出張、研修			○	○	
信楽地域内での事例検討会及び研修会参加			○	○	
信楽荘での行事に参加、協力	○	○	○	○	
毎月の利用票配布、提供票配布、担当者会議開催	○	○	○	○	



年間行事計画	利用者	家族	職員	地域	年間行事計画 評価
健康診断	○		○	○	健康診断については協力し短時間で終了する事が出来た。 1ユニットはコロナ発症の為、実施出来なかったため嘱託医の病院にて実施した。 予防接種については嘱託医との時間調整、各ユニットの協力で無事に実施する事が出来た。感染対策委員会は月に1回管理職会議の後で開催し基本的な感染対策予防の徹底を全職員に発信した。
インフルエンザ予防接種	○		○	○	
コロナワクチン接種	○		○	○	
肺炎球菌ワクチン接種	○		○	○	

令和 6年 3月 20日作成

令和 7年 4月 30日作成

今年度目標	今年度目標
食を通して美味しく楽しく笑顔になれるお手伝い	食を通して美味しく楽しく笑顔になれるお手伝い

基本方針	口から美味しく楽しく五感で満足していただける食事提供 利用者一人ひとりの身体状態に配慮した食事の提供	報告	四季のメニュー、旬の食材で季節感を味わっていただいた。 体調、状態の変化に応じた食事提供ができた。
------	---	----	--

項目1 安全でニーズに合わせた食事					項目1				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評価	利用者	家族	職員	地域
利用者の食事状態、体調に合わせた食事の提供	○		○		体調・状態の変化に合わせた食事提供ができた	○		○	
食中毒感染予防の徹底	○		○		食品衛生・食材管理の徹底に努めた	○		○	
衛生管理に注意して適温で提供	○		○		温冷配膳者使用で適温で提供できた	○		○	
栄養管理に基づいた食事提供	○		○		管理栄養士の基での食事提供	○		○	
栄養ケアマネジメントモニタリング作成	○		○		モニタリング作成できた	○		○	
夜間厨房内殺菌機設置	○		○		オンソノ機器毎晩作動	○		○	

項目2 食事を通じたコミュニケーション					項目2				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評価	利用者	家族	職員	地域
旬の食材を使った献立作成	○		○		季節を感じていただける献立提供	○		○	
行事食の工夫	○		○		季節感のある食事や弁当容器での提供	○		○	
変化に富んだ食事提供	○		○		新しいおやつを数回提供	○		○	
利用者と共に楽しむ	○		○		喫茶等行えていない	○		×	
毎日の各ユニットへのラウンド	○		○		あまり行えていない	○		×	
フェイスブックの活用	○		○			×		×	

項目3 課題の共有・改善					項目3				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評価	利用者	家族	職員	地域
日々のミーティング			○		数回しか行えていない			△	
給食会議、厨房会議			○		給食会議は開催できた			△	
研修会			○		個人の研修に参加			○	

年間行事計画	利用者	家族	職員	地域	年間行事計画 評価
おひさまカフェ(不定期)	○		○		人員不足、感染症等で喫茶・各部署ラウンドが行えなかった。おやつも既製品に頼る頻度が多くなったが利用者さんの声を聞きその人の状態にあった栄養マネジメントを多職種で検討できた。行事での昼食、おやつは手作りで提供でき季節を感じていただけたと思う。食材の値上がりにより値上げをすることになりましたがこれからも季節を感じてもらえる食事の提供をしていきます。
手作りおやつ(月1回の誕生日ケーキ)	○		○		
旬の食材使用	○		○		
季節の行事食(おせち、節分、ひな祭り)	○		○		
敬老会、創立記念、クリスマスなど					

令和6年 3月12日作成

令和 7年月 日作成

今年度目標	今年度目標
信楽荘における非常時(災害時)における職員の対応の意識付け	訓練を通して災害に対する職員の意識は向上している

<p><b>基本方針</b></p> <p>非常時に備えて、利用者及び職員自身の安全確保と職員間の日頃からの円滑な連携が出来る事。防災委員会の組織を充実し、マニュアルの見直しや研修をする事で全職員への防災対策に関する意識の向上に努めていきます。又災害が発生しても事業が継続できる体制を整えていきます。</p>	<p><b>報告</b></p> <p>現場の職員が主となって訓練に取り組めるようになってきている。今後、避難後の動きも課題になってくるので考えなければならない。</p>
--	---

項目1 利用者と職員の避難訓練	項目1
計画内容	利用者 家族 職員 地域
火事・水害・地震の避難訓練	○ ○ ○ ○
職員同士の非常時の緊急連絡	○ ○ ○ ○
非常時の避難通路の確保及び理解	○ ○ ○ ○
BCPの確認と見直し	○ ○ ○ ○
緊急時の職員の連絡報告	○ ○ ○ ○
備蓄品の確認と確保	○ ○ ○ ○

項目2 地域の方々との自然災害時の協力と支援	項目2
計画内容	利用者 家族 職員 地域
信楽地域の自然災害時の避難施設として設置	○ ○ ○ ○
信楽地域の自然災害時の地域との協力	○ ○ ○ ○
信楽荘在宅利用者の自然災害時の援助	○ ○ ○ ○

項目3	項目3
計画内容	利用者 家族 職員 地域

項目4	項目4
計画内容	利用者 家族 職員 地域

年間行事計画	年間行事計画 評価
火事を想定した避難訓練、職員連絡網の活用(5月)	年間3回の訓練に夜間(19:00)を加えた訓練を行った。連絡網訓練では連絡の行き届いていない部署があり連絡網の見直しを行った。消防設備の点検は業者にて年2回、日々の点検については防火管理者が随時行いました。
水害を想定した避難訓練 (9月)	
夜間職員連絡網訓練 (12月)	
地震を想定した避難訓練 (3月)	
BCPのチェックと見直し確認	